

第一回 防災文化交流会



特定非営利活動法人 地域防災推進機構
Non-profit Organization for Action-oriented Disaster Risk Reduction

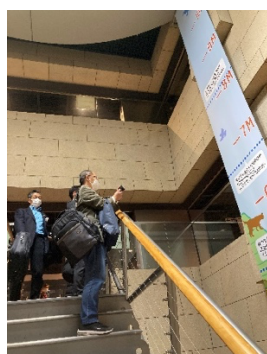
地域防災推進機構が設立されて初めての会員同士の交流と防災教育についての意見交換の場としての防災文化交流会を開催しました。2021年12月19日(日)本所防災館での様々な防災学習の体験を皆で行い、解説員の方から展示の工夫や、訪問・体験されるお客様の様子のお話を伺いました。また館長ともご挨拶をさせていただき、充実した時間を過ごしました。コロナ禍でなか

なか企画できませんでしたが、感染状況が落ち着いて頃を見計らって企画、14名の会員の方のご参加を得て、充実した交流の時間を持つことができました。

午前中は、村尾理事長のアイディアで、オプション企画として両国駅から本所防災館まで、関東大震災の被害に思いを馳せるウォーキングツアーも開催されました。



本所消防署に併設された防災館は、ピラミッド型。類グループ設計のインパクトある建物。館内は宇宙船を思わせるデザインです。



徳川幕府が低湿地を町に変えたという歴史の説明に加え、水害に備えて過去の災害の浸水深さを説明。わかりやすい展示説明に感心する声。他の地域での展示に活かすために、思わず撮影。



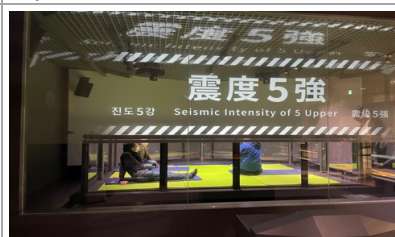
ゼロメートル地帯にある本所防災館は、水害関連体験が充実。アンダーパスの映像を背景に、浸水深に合わせて自家用車のドアが、重くなる体験装置。来場者がけがをしないよう、体験できる限度を調整しているとのこと。



家族連れや校外学習だけでなく、会社の職場単位で研修としての来館が多いとのこと。海外の大使館職員も来て学習するそうです。



関東大震災時に火災の脅威を体験した地域。充実した煙体験ができます。プロジェクションマッピングも駆使した展示説明。解説員の方が常に最新情報を使って、来場者に合わせて解説していただきます。



オプション企画では、関東大震災時の災害の爪痕を確認。

本所防災館周辺は、関東大震災からの教訓を学ぶことのできる場所、木造密集地域、防火のために設けられた白髭東アパート等、次世代に何を伝えて

いくべきなのか、そしてまた日々の私たちの備えを考えるきっかけを与えてくれる場所が沢山あります。家族と、職場の仲間と、訪問してみませんか？

特定非営利活動法人 地域防災推進機構 (Noa-DRR)

〒108-0074 東京都 港区高輪 2 丁目 14-18 グレイス高輪 307 号室
Tel 03-6277-4972 info@noa-drr.com



特定非営利活動法人 地域防災推進機構
Non-profit Organization for Action-oriented Disaster Risk Reduction

第一回 防災文化交流会 参加者の声

【T・S さん】防災館では、VR 等の最新技術を屈指した各種コーナーで、臨場感を高めながら体験学習させていただきました。また、オプション企画では、街歩きをしながら、はじめて知る地名の由来や歴史を教えていただき、視野を広げていただきました。わきあがる疑問を、その場で、専門家の先生方にお伺いすることもでき、おかげさまで大変学び多き一日を過ごせましたことを感謝しております。

【C・K さん】子どもの頃の避難訓練では全員が体験できませんでしたが今回は憧れの消火器体験も出来

ました！水害でドアを開ける体験など思った以上の付加があり、実際の災害ではパニックになってしまいそうです。その他、VR など最新の機材で、地震や台風、大雨体験することが出来て、やはり、聞く、見る、と体験することは大違いだと感じました。また、専門家の先生が引率してくださったので、疑問をその場で質問できたの、体験が情報と結びついて蓄積された実感があります。私も今回初めて本所防災館のことを知りましたが、一般に公開されているので、この機会にぜひたくさんの方に体験していただきたいと思いました。